

2022  
No. 100

令和4年2月10日発行

# 議会だより こさか



スキー大会に向け練習に励む小学生



- 10月臨時会・12月定例会の概要 2～3
- 西十和田トンネル（仮称）早期建設要望 3
- 一般質問 4～9  
こんなことを聞きました（5議員）
- みんなの広場、原油高騰に係る農業関連要望、  
人事案件に同意 10

小坂町かぶきん



## 補正予算の主なもの

- ・新型コロナウイルスワクチン接種等事業 993万円
- ・子育て世帯臨時特別給付金事業 2786万円
- ・生活バス路線運行費補助金 2240万円
- ・農業夢プラン応援事業費補助金 414万円
- ・燃料券交付事業 2463万円
- ・十和田ふるさとセンター改修工事 1870万円 他

令和3年第8回小坂町議会定例会は、11月30日から12月8日までの9日間の会期で開催されました。

定例会では、令和3年度補正予算のほか、各種条例議案、指定管理者の指定などについて審議しました。

12月定例会では、国民健康保険条例の一部改正など条例関係議案9件、補正予算案関係8件、指定管理者の指定3件を原案のとおり可決しました。

その他には、陳情4件を採択し、意見書案4件を全会一致、議員発議意見書2件を全会一致及び賛成多数で可決、人事案件1件に同意して閉会しました。(下段に議案一覧)

### 燃料券を全世界帯に

**賛成** 原油高騰に対する暮らしの支援策であり、町が町民の暮らし向きをしっかりと見据えた形での町単独事業として予算提案したことを高く評価したい。次に考えるときには福祉施設への支援も検討していただきたい。

### 採決の際に賛否が分かれた案件の結果 (12月定例会)

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 (議長は採決に加わりません。)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	採決結果
議員名	船水 隆一	栗山 忠三	本田 佳子	亀田 利美	菅原 明雅	秋元 英俊	成田 直人	鹿兒島 巖	小笠原憲昭	熊谷 聰	椿谷 竹治	目時 重雄	
小坂町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	可決
小坂町会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	可決
西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

その他	補正予算											条例の改正					区分		
知識経験を有する者のうちから選任する監査委員の選任(無記名投票)	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	賛成	採決
指定管理者の指定について(小坂町「天使館」)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況
指定管理者の指定について(小坂町「天徳館」)	同意	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果	

# 10月臨時会

## 十和田ふるさとセンター 改修及び備品購入 665万円

令和3年第7回小坂町議会臨時会が、10月21日に開催されました。

条例の一部を改正する条例の専決処分、一般会計補正予算、人事案件について審議しました。

# 西十和田トンネル(仮称) 早期建設を求める要望活動

西十和田トンネル(仮称)は、冬期閉鎖されている青森県平川市温川から小坂町滝ノ沢までをトンネルで結ぶ建設構想区間で、津軽方面から十和田湖への観光ルートです。12月議会で建設促進の意見書を採用し、12月24日に川口一県議会議員の同行のもと、建設促進市町村議長同盟会会

西十和田トンネル(仮称)構想図



十和田ふるさとセンター関連予算の他、新型コロナウイルス感染症対策予算として、感染症関連により影響を受けた飲食店、宿泊施設の事業主に對して事業継続支援交付金や、小中学校での感染症対策用品を購入するための経費などの予算ということで、全会一致で可決されました。

長の黒石市議会議長と一緒に秋田県建設部長に要望活動を行いました。



▶秋田県建設部長(左から2人目)に意見書を手渡し、黒石市議会議長(右から2人目)。左端は川口県議会議員、右端は目時議長

その他	補正予算	条例の改正	区分
教育長の選任(無記名投票)	一般会計補正予算(第5号)	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	第7回(10月)臨時会 議案名
9	11	11	賛成
2	0	0	反対
同意	可決	承認	結果

陳情				その他						区分
介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情	精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情	すべて総務福祉常任委員会付託	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書	介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める意見書	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める意見書	精神保健福祉の改善に関する意見書	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための意見書	第8回(12月)定例会 議案名・陳情(右ページより続く)
11	11	11	11		11	10	11	11	11	賛成
0	0	0	0		0	1	0	0	0	反対
採択	採択	採択	採択		可決	可決	可決	可決	可決	結果

## 1 8番 鹿兒島 巖 議員

1. 空き家対策について
2. 原油高騰の影響から暮らし・生業を守る福祉灯油などの支援策について
3. 若者定住政策に関わって
4. スクールカウンセラー実施状況に関わって



## 2 9番 小笠原 憲昭 議員

1. 観光施設の利活用について
2. スポーツ施設の管理運営について



## 3 5番 菅原 明雅 議員

1. 本町の独居老人の見守り策と独居老人の孤独死について
2. 「和井内貞行翁」の顕彰について



## 4 6番 秋元 英俊 議員

1. 第6次総合計画について
2. 川上公民館整備事業について
3. 小坂町消防団の未来について
4. 「新しい資本主義」提案について



## 5 3番 本田 佳子 議員

1. オンラインアプリの活用について
2. 再生可能エネルギーの活用について
3. 援助を必要とするマークの周知について
4. IoT 利活用型みまもりシステムについて

12月定例会  
一般質問  
町政を問う

5人の議員が  
16項目について  
質問

# 空き家全町調査の結果と今後の対策は

町長 全町で214戸を確認し、利活用と解体への対策を具体化したい



鹿兒島 巖 議員

とのことだが、その中で居住可能は何件で解体が必要と思われる件数は。

特に解体が必要と思われる危険空き家については具体的な対策、解体促進への支援の強化策が必要と考えるがどうか。

答 空き家の中で居住が可能と思われるものが55件、居住不可能と判断したものが159件です。

今回の調査で対象の多さも把握できましたので、踏み込んだ対策が必要と考えます。

国の法整備を受けて対応する方向で、特定空き家（町が危険空き家と認定した物件）に対しては、国の示す手順で、町での具体策について検討したいと考えます。

# スクールカウンセラーの実施状況の変遷をどう捉えているか。見直しが必要では

教育長 良好な人間関係のうえに相談できる体制の充実に努めます

問 文科省が10月に小中学生の不登校についてアンケート調査した結果を公表したが、

「誰にも相談しなかった」が40%前後もあり、「相談した」では家族が小6で53%、中2で45%、先生が13%と15%、カウンセラーが8%と7%であった。この調査をどう受け止めるか。

町のカウンセラーの実績を見ると2019年度と20年度の間に大きな開き（不登校での相談件数19年度139件に対し20年度67件）があるが、その要因は。

答 調査結果がそのまま町に当てはまるかどうかはありますが、家族以外での相談体制の充実が重要と考えます。カウンセラー実施数値の差

異ですが、20年度に相談体制の組み替え（カウンセラーに つなげる前の相談体制の整備）を行いましたので、その関係も一因と考えます。

問 OECD（経済協力開発機構）の調査で日本の教員の勤務時間が加盟国最長とある。教員の長時間勤務、中でも課外指導、事務業務で最長。

こういった教員の勤務状況が子どもと教員のかかわりにマイナス要因としてあるのではないか。

答 働き方改革と言われる中で、町としても子どもたちと向き合う時間を長く持てるよう取り組みを考えています。

# 若者定住の推進に岩ノ下住宅の増設を空き地のままならミニ児童公園を

町長 町での増設は当面考えていない。空き地の活用提案は受け止めたい

問 昨年6月の定例議会で、定住促進住宅の増設を求めたところ、「民間賃貸住宅の建設を支援したい」と答弁したが、実績はどうか。

答 岩ノ下ハイツ前の空き地へ町で新たなハイツを増設してはどうか。

問 民間賃貸住宅の動きはいまのところありません。

答 岩ノ下の空き地については、町でなく民間でできるか、もうしばらく反応を待ちたいと

# 一般質問 町政を問う

問 6月から行った全町空き家調査で214件を確認した



岩ノ下ハイツ前、空き地のままなら児童公園を

# 原油高騰から暮らし・生業を守る福祉灯油を

町長 全世帯に1万円の燃料券を支給したい

現金価格
166
177
145
105

# 康楽館・鉱山事務所を 町民が利用しやすい工夫を

町長 芸術文化活動への支援を検討します



小笠原 憲昭 議員

## 一般質問 町政を問う

**問** 第6次小坂町総合計画では、近代化産業遺産群の魅力向上として「活用なくして保存なし」としている。さらに「観光客だけではなく町民も活用したい」と思えるような仕掛けづくりを進め、観光資源を生かした地域の活性化を推進します」としている。かつての康楽館は町民が気軽に楽しめる施設であった。観光施設としての役割を否定するものではないが、町民の



町民が親しめる施設へ

身近な施設として気軽に集団や団体が安価で利用できる場であってもいいのではないかと。鉱山事務所も、建物の雰囲気合った活用方法があるのではないかと。町民の楽しさを生み出す工夫をどうにかできないものか。

**答** 両施設は、町民等の文化の発展を図り、町民が鉱山の町として歩んできた歴史と文化に関する知識を深め、生活の向上に寄与することが設置目的になっていきます。活用することで町民が生きがいを持って楽しく活力ある町づくり

に取り組んでいくことは、町の願いでもあります。以前は多くの芸能団体が発表会などで利用していましたが、近年は少なくなっています。

町民が康楽館に親しみ利用することは、地域の活性化につながることで、芸術文化活動を行うための支援を検討していきます。

鉱山事務所、天使館も利用が可能ですが、あまり利用されていない現状です。利用しやすい環境整備も大切と思うので、積極的に利用していただくための施策について、指定管理者と協議していきます。

**問** 具体的にどのような支援が考えられるのか。

**答** 以前は、団体も数多くありましたが人口減少とあいまって活動する団体も少なくなっています。新型コロナウイルス感染症予防から入場者数の制限もあり、活動事業の収支についても、チケット販売では大変に難しくなっているとの声も伺っています。

使用料や諸経費について、芸術文化活動助成ということでの補助制度を検討しているところです。

# スポーツ施設の 管理運営について

第6次総合計画での、スポーツ・レクリエーションでは「安心・安全な環境整備に努めるとともに、時代や町民ニーズに対応した施設、設備の充実を図ります」とされている。野球場のスコアボードの表示をボール・ストライクの順にすべきではないか。



国際ルールに基づくスコアボードに

**答** 野球場、陸上競技場とも多額の経費がかかることから現在は公認検定を受けておりません。

**問** 小・中学校の授業、スポ少部活動の練習、練習試合、行事などに利用されているので、必要な整備をし良好な環境維持に努めていきます。

**答** 経費はどの位要するものか調査したのか。

**問** 国際基準にするためには30万円の見積もりです。

**答** 30万円の捻出について、財政的に著しく支障があるのか財政課長に伺いたい。

**問** この程度の金額であれば特に支障はないと思います。速やかに改善していただきます。

きたい。

**答** 野球場を利用している方々がどのように考えているのか、もう少しお聞きしながら考えていきたい。

**問** 野球場の裏側の中央公園との間の通路整備計画はあるのか。凸凹があり危険である。

**答** 桜の木が成長し、根が地盤を持ち上げ段差ができています。どのように修繕工事をするか検討しています。すが結論に至っていません。最近さらに段差が大きくなり、つまづいたり転倒する危険な状況となってきましたので、来年度予算に修繕工事の要求をしています。予算配分されたら、建設課と協議し安全に通行できるよう整備します。

# 本町の独居老人の見守り策について

町長 支え合う体制の構築を強化してまいります



菅原 明雅 議員

## 一般質問 町政を問う



▶「配食サービス」で弁当づくりに励んでいる方々

**質** 本町の福祉行政を高く評価していますが、その上での質問です。

1 本町の独居老人の見守り策について伺いたい。

2 各自治会では民生委員を中心に独居老人の孤独死等について対応していますが、民生委員のいない自治会もあります。今後さらに進む高齢社会の中で、独居老人の孤独死防止にどのように対応していこうとお考えか。

3 社会福祉協議会では町の委託を受け、食を通して独居老人等を見守る「配食サービス事業」を展開していますが、協力者の高齢化や後継者不足が懸念されます。この素晴らしい事業を継続するためにも、「活動に見合った対価が必要」と考えますが、いかがお考えか。

**答** 1 町では、平成23年度から、支援が必要な高齢者等を支え合う「小坂町地域見守り活動事業」を開始

し、配達・巡回する事業者や自治会等から協力を得て、まるごと支援班へ情報提供をいただいています。また、65歳以上のみの世帯に対して、救急医療情報キットを配布し、倒れている独居老人を発見し、迅速に緊急対応できた事例もあります。さらに、平成28年度から「地域見守りネットワーク情報交換会」を社会福祉協議会と合同で実施しています。

2 民生委員がいない自治会においては、自治会長をリーダーとして見守りや安否確認の体制をとっています。新しい取組として、各自治会へ「地域支援サポーター的な役割を担う推進員」の配置を考えています。今後も町民が安心して暮らせるよう、施策の周知を図り、独居高齢者等の孤独死防止へつなげていきたい。

3 活動している方々の気持ちを尊重しながら、活動に見合う対価として、どの程度の金額が妥当なのか、社会福祉協議会と相談の上、慎重に判断してまいります。

## 「和井内貞行翁」の 顕彰について

**質** 来年二〇二二（令和四）

年は、「十和田湖開発の先駆者 和井内貞行翁」の没後百周年の節目の年に当たります。

1 昭和三十年の町村合併以来、本町は和井内貞行翁をどのように顕彰してきたか、また翁の偉業をいかに後世につなげていこうとお考えか。

2 現在「十和田湖畔に和井内貞行の銅像を建てる会」設立の動きがありますが、町はこの会にどのように関わっていこうとお考えか。

**答** 1 郷土館で平成七年、十一年に記念展・企画展を開催しています。またふるさと教育で顕彰活動も行っています。来年度は郷土館ロビーで関連した展示を計画しています。

範囲で協力していきたい。

**要望** 和井内貞行翁は鹿角市出身ですが、小坂町の十和田湖に生涯を捧げた人物です。ひめますのふ化増殖・十和田湖の観光開発に、カツ夫人とともに尽力されました。「十和田のひめます」という題名で小学校の国語教科書でも讃えられた、全国区の偉人です。没後百周年の節目に、翁の偉業を後世に伝えるため、展示資料等を整理し、町民の教材として製本し、形として残していただきたい。

また銅像建設は、十和田湖住民の悲願でもあります。町民が一九となつて実現に向け活動できるよう、町のご協力をお願いしたい。



▶和井内貞行翁とカツ夫人

## 省資源循環の推進における生ごみの処理について

町長 生ごみの堆肥化の推進及び意識の高揚を図るとともに、環境に優しい循環型社会の構築に取り組んでいます



秋元 英俊 議員

らないと考えますが。

## 第6次小坂町総合計画について

町長 第6次小坂町総合計画の基本目標4・1・4資源循環の推進における生ごみの処理について、5年前と比較して、人口は減少しているが、その減少率と相反してごみの排出率は増加傾向にあり、さらなるごみの減量化及びリサイクル率の向上を図らなければなら

## 一般質問 町政を問う

るのか。  
答 実施計画は、令和3年4月から開始され、第6次小坂町総合計画の基本構想に掲げた街の将来像「ひとと自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」の実現を図るため、基本目標に基づいて取り組み事業を示したものです。

その中で、令和4年度に体育館改修についての川上公民館整備実施設計及び体育館改修工事、民具等移送と掲載されています。この体育館改修工事には、公民館との渡り廊下設置工事のほか、耐震改修工事、照明LED化工事などを計画しています。

なお、実施年度については、他の施設改修工事との優先順位、財政状況などを鑑み、変更となる場合があります。

答 実施年度は別として、工事には、渡り廊下設置が含まれているのですが、現在、体育館利用時の、特に冬期間のトイレ事情において、大変不便さを感じているところから、快適な活動拠点になるよう整備が必要であり、早急に対処していただきたい。  
答 体育館にある小学校時代の



川上体育館

## 小坂町消防団の未来について

町長 小坂町消防団強化について、幼少年婦人防火委員の構築を進めるべきと考えますが、(幼少年婦人クラブの育成)。

答 小坂マリア園においては、毎月避難訓練を実施していることや小坂小・中学校においても定期的に避難訓練や消火訓練などを実施しています。防火や防災について知識を学んでいること、子どもの人数が減少していること、さらに学校活動の繁忙化などからクラブの結成が困難な状況であることから、防火クラブの組

## 国の「新しい資本主義」提案について

町長 国の政策にいち早く取り組むべき事業の展開を構築しておくべきと考えますが。

答 新しい資本主義の実現に向けた提言の内容は多岐にわたり、今後地方自治体を取り組むべき課題が示されており、介護・保育などの現場で働く方々の収入増につながる抜本的見直しを検討するとしているので、国の動向を見極めながら、速やかに対応できるよう準備を進めていきます。

答 教育委員会として、教育の一環として幼少年防火クラブを構築できないか。  
答 小坂マリア園において毎月避難訓練を実施していることや、「小坂小・中学校防災管理計画」に基づき毎年訓練を実施していることなどから、その取り組みは考えています。



# オンライン面会で心のケアを

町長 対応を引き続きお願いしています



本田 佳子 議員

## 一般質問 町政を問う

**問** コロナ禍において、医療機関や介護施設では面会制限があり身内でも面会できず、精神的につらい日々を過ごされた方が多数おられたと伺っている。町内の介護施設等において、オンライン面会が行われているか。今後、オンラインアプリ等を利用すべきと考えるがいかがか。デジタル化に伴い、上手に活用することと心のケアや意思疎通に有効と考えるが、町として今後どのように働きかけるかを伺う。

**答** 地域医療介護総合確保基金を活用し、オンライン面会の端末を購入した施設があります。小坂ふくし会が運営する3施設、医療法人寿光会1施設、花輪ふくし会が運営する3施設のうち、1施設は昨年8月から、それ以外の施設は本年2月から、タブレット端末を利用したオンライン面会を実施しています。オンラインで使用する方法は「ライン・ズーム・スカイプ」などで、家族の要望に応じて対応しています。普段から遠方の家族等への対応も引き続きお願いしているところです。

## 再生可能エネルギーの活用を

町長 引き続き検討していきます

**問** 日本にとって、未来のエネルギー確保は大きな課題。地球温暖化のため災害も頻繁に発生し、各国では自然に負担の少ない、循環型の再生可能エネルギーに切り替え、脱

炭素の努力をしている。これからは、町独自のエネルギー供給が重要課題。町の再生可能エネルギーの現状・進捗状況、エネルギーの確保を今後進めていく考えはあるか。

**答** 平成27年から本庁舎で使用している太陽光発電、現在、整備中の「十和田湖和井内道の駅」のバイオマスボイラーがあります。小水力発電には上水配水管を活用したものや、町に数多く存在する河川、砂子沢ダム落差を活用したものが考えられ、これらの可能性についても引き続き検討していきます。

## 援助を必要とするマークの周知を

町長 広報等で周知します

**問** ヘルプマークやマタニティマーク、聴覚障害などのマークは、認知度が低い。小・中学生等の生徒は、教育を受け、認知している。目に見えない難病を持ち、助けを必要とする方が、中高年の方に、ヘルプマークを提示しても理解してもらえず、理不尽な対応をされたら相談を受け

た。一部の方のモラルの問題と思うが、認知されない証拠ともいえる。援助を必要とするマークが町民に周知されているか。

**答** 制度理解を促すためにも、様々なマークの意義について定期的に広報等で町民へ周知していきます。

## IoT活用見守りシステムの導入を

町長 事業のあり方を再考します

**問** 町の高齢者の一人暮らし世帯が増加し、特にコロナ禍において、安否確認の見守りが重要な課題。見守り手段の一つとして、「みまもり電球」という通信機能を内蔵した電球による見守りシステムがある。トイレなどに設置し、電球の点灯情報から異常を検知して、そのデータが家族、あるいは町の社協などのスマホやパソコンに届くシステムで、

設置が簡単。使用者のプライバシーが守れ、生活リズムの把握ができるため、社会的孤立や、孤独死、病死、災害時における逃げ遅れを防ぐという効果が期待される。町ではIoTを活用した見守り等は行っているか。

**答** 町では実施していない。しかし、IoTを活用した高齢者等の見守りは、今後利用される方が増加すると思われますので、こうしたサービスを視野に入れた事業も必要であると思っています。初期費用や月額利用料がかかるなど、サービスも様々あり、利用者自身の生活状況に合ったサービスを選択できるようにすべきであると考えますので、見守り事業のあり方について再考していきます。



電球を活用した見守り

みまもり電球を  
トイレ等に設置

